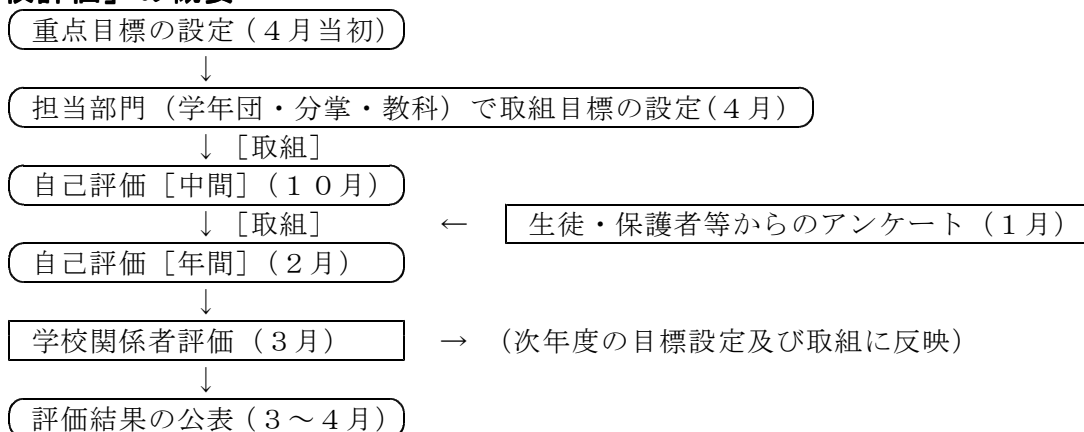


# 本校の重点目標と「学校評価」について

## 1. 「学校評価」の概要



## 2. 平成23年度の教育方針と重点目標

### (1) 教育方針

知、徳、体に調和のとれた人間教育を基調としながら、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、高い人格と豊かな人間性を養い、将来、広い視野に立って、社会の発展と文化の創造に貢献できる人材の育成を図るため、教職員は、その使命を自覚し、日々研鑽に励み、次の方針の達成に努める。

- 1 学問を愛し、自ら学ぶ意欲と正しく判断する能力を養い、高い知性を育てる。
- 2 人間を愛し、信義や礼節を重んずる心を養い、自主・自立の生活態度を育てる。
- 3 自然を愛し、文化や伝統を尊重する心を養い、豊かな情操を育てる。
- 4 スポーツを愛し、勤労を重んずる心を養い、たくましい気力や体力を育てる。

### (2) 平成23年度重点目標

生徒一人ひとりが、自分の夢(dream)の実現に向かってトライ(try)するためには、しっかりとした基本的生活習慣を身につけ、自己の可能性を信じて目標に向かって日々の努力を継続する行動力(action)が不可欠である。このように生徒が主体的に学習する習慣を確立し、学習や部活動において少しでも高い目標を乗り越えるべく努力しようとする意欲や態度を育て、基礎学力の向上(up)を図るために以下の3点を重点目標とする。

- ①挨拶やマナーの向上を図り、自主・自立の生活態度を育て社会性や判断力を涵養する。
- ②1日1時間以上の家庭学習の習慣を身につけさせ、基礎学力の向上を図る。
- ③進路指導を充実させ、早めに進路目標を設定させ、その自己実現を図る。

このうち、学習指導、生徒指導、進路指導の評価項目の評価を行う担当部門を次表のように定めました。

評価項目	重点目標	評価を行う担当部門
学習指導	基礎的学力の定着	教科、教務部、進路指導部
生徒指導	自主・自立の生活態度の育成と社会性の涵養	学年団、生徒指導部、特別活動指導部
進路指導	進路指導の充実	学年団、進路指導部、教務部(総合学習)

なお、その他の分掌ごとの目標については、各分掌で評価を行います。

### 3. 平成22年度「学校評価」の結果報告

#### (1) 重点目標

- 教育課程・学習指導に関して : 基礎的学力の充実をはかる  
 生徒指導に関して : 自主・自立の生活態度の育成と社会性の涵養  
 進路指導に関して : 進路指導の充実をはかる

#### (2) 自己評価の結果

重点目標についての取組目標を各担当部門で定めて4段階評価（A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった）を行いました。分掌の独自の目標についての評価も含めて、結果は以下のとおりです。

#### 〔基礎的学力の定着をはかる〕各教科・教務部・進路指導部による自己評価

教科・分掌	取組目標	評価
国語科	漢字・語彙・古典文法などの基礎的な国語常識について、課題を期限を守って提出させ、小テストや定期考査に盛り込み定着を図る。	B
	発問に対する「わからない」を認めることなく、ヒントを工夫し誘導することで、自ら考え解決する過程を大切にする意識を高める。	B
	名文の音読・暗唱を実施して、日本語に親しみ、正しい言語感覚を身につけさせる。	B
数学科	確認テスト(小テスト)を実施して、基礎学力の定着を図る。	C
	関連する既習事項の復習を折り込んだ授業を行う。	A
地歴公民科	科目・単元に応じて、興味・関心を高める工夫をする。	B
	基礎学力の充実をはかるため、科目に応じた工夫をする。	B
英語科	辞書を活用できる力を身につけさせる。	B
	課題の提出を確実なものにする。	B
理科	生徒実験をより充実させ、興味関心を持たせるとともに、積極的に実験に参加する態度や責任感、判断力を養う。	B
	宿題やレポートの提出など、こまめな点検・評価を行い、家庭学習の習慣をつける。レポートの内容についても、丁寧に指導する。	B
保健体育科	基礎体力の向上のために、授業前のランニングと補強運動を充実させる。	B
	授業における生徒の運動の結果を可能な限り、数値化し、ランキングを作成する。(体力テストやバレーボールのアタック成功率など)	B
芸術科	準備物を忘れず、私語をせず、集中して授業に取り組む姿勢を養う。	B
家庭科	日常生活に必要な知識・技術を身に付け、活用する問題解決能力の育成を図る。	B
情報科	コンピュータやコンピュータで取り扱う情報についての概念を理解させ、情報活用能力の基礎を養う。	C
	パソコン検定の合格率を上げるよう指導し、資格の取得率を上昇させ、進路決定に役立たせる。	C
	コンピュータを活用したマルチメディア活用能力を身につけさせる。	B
教務部	学校行事の適切な配置などの工夫により、授業時間の確保に努める。	A
進路指導部	実力診断テストや小論文模試の事前課題を計画的に実施する。また、事後指導も充実させることにより、学ぶ習慣を身につけさせる。	B

#### 〔自主・自立の生活態度の育成と社会性の涵養〕各学年団・生徒指導部・特別活動指導部による自己評価

学年団・分掌	取組目標	評価
一年団	挨拶の励行、時間厳守を徹底し、基本的な生活習慣の確立を図る。	B
	部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組ませる。	B
二年団	時間厳守や言葉遣い、挨拶等のマナーを身につけさせる。	B
	教室の整理整頓や服装等、改善に向けて根気強く指導にあたる。	B
	部活動や生徒会活動、学級活動等に積極的に取り組ませる。	C
三年団	挨拶、服装指導等を積極的に行い、社会性を確実に身につけさせる。	B
	様々な場面での声掛けを行い、信頼関係を築いた上での指導を心がける。	A
生徒指導部	全教員が共通理解し生徒指導に取り組む。	C
	問題行動の根絶に向けた取り組み。(自ら判断し、やめることができる態度を育てる)	B
	生徒が自主的にあらゆる活動に積極的に取り組む雰囲気作り(学校行事、地域の行事、ボランティア活動、部活動、進路への取り組み)	B
特別活動指導部	生徒一人ひとりが体育大会、文化祭等に主体的に参加し、自己の役割や責任の自覚、社会性、判断力を育成する	B
	部活動やボランティア活動等に積極的に取り組ませ、津田高生としての誇りと自覚、社会性を育成する。	B

[進路指導の充実をはかる] 各学年団・進路指導部・教務部(総合学習)による自己評価

学年団・分掌	取組目標	評価
一年団	宿題や課題の提出を教科担任と連携を図りながら、必ず取り組ませる。	B
	進路意識の高揚を図る。	B
二年団	授業を大切にし、学ぶ姿勢を確立させ、基礎学力の定着を図る。	C
	進路意識を高く持たせ、志望の実現に向けた学習習慣を身につけさせる。	C
三年団	個別指導に力を入れ、進路実現の援助を行う。	B
	高めの進路目標を設定させ、目標達成のための学力を身につけさせる。	C
教務部 (総合的な学習の時間)	1年生は進路意識向上のために大学・企業等見学、職場体験学習等を、より質を高めて行う。 3年生は進路実現のために小論文・面接・学習指導を充実させる。	B
進路指導部	進路LHR、講演会やガイダンスを通じ、また、進路説明会やオープンキャンパスへの参加を積極的に呼びかけることにより、進路意識の高揚を図る。	B
	課外、学習合宿、面接・小論文等の個人指導を行うことで、進路実現の援助をする。	B

[分掌の独自目標]

分掌	取組目標	評価
特別活動 指導部	生徒会を中心に学校行事を安全かつ円滑に運営する。	B
	チャレンジウォークの完歩率100%を目指す。	A
	生徒会長選挙における投票率100%を目指す。	B
情報教育部	日常の業務に支障が出ないよう、情報機器のトラブルには速やかに対応する。	B
	個人情報の流出防止など、情報管理をきちんと行う。	B
	IT化の流れに遅れないように、情報教育部員の自己研修を図る。	B
総務部	保護者の各種行事への参加・出席率を向上させる。	B
	保護者との連携を密にする。	B
	学校の広報に努める。	A
保健環境部	日々の全員清掃を通じて、奉仕の精神や個人の役割を果たすこと、人と協力する姿勢の大切さを涵養する。道具を大切に使う心も養う。	B
	自らの健康に関心を持ち、自主的に健康管理を行い、生涯を通じて健康を保持増進する力を身に付けさせる。	B
教育相談部	HR担任、学年団、及び保護者との連携を図り、共通理解を持って生徒の援助に努める。	B
	心の健康に関する活動を推進する。	C
	特別支援委員会を定例化し、情報を共有するとともに、特別支援教育への理解を深める。	B
人権・同和 教育部	「人権だより」や研修の機会を用いて、教職員研修の充実に努める。	A
	LHR・映画鑑賞会・朝の読書等の機会を用いて、生徒の人権意識の高揚を図る。	A
	「人権だより」等を通じて、保護者とともに考えていく体制をつくる。	B
事務部	トイレ改修工事の施工において、生徒・職員の安全を確保し、授業等への悪影響が最小となるよう計画・調整を行う。	A
	CO <sub>2</sub> 等温室効果ガス排出量の削減を目指し、電気、水道、燃料、用紙等の使用量の抑制に生徒、職員の意識を高めながら取り組む。	C
	新たに定められた私会計の負担区分基準に沿って、校内諸会計を見直し、特別活動や部活動等、生徒の主体的な活動への支援に重点を置いた予算執行を図る。	B

(3) 生徒からのアンケートの結果

学校行事、学校生活、授業及び学習等についてアンケート項目を設けて実施しました。  
下表はそのうちの幾つかの項目についての比率 (%) を抜粋で示したものです。

		A	B	C	D
学習	いつも授業を大切にしている	20%	61%	17%	2%
	日常の家庭学習はできている	3%	20%	45%	32%
生活	制服を正しく着こなしている	38%	52%	9%	1%
	学校生活で時間を守っている	45%	47%	7%	1%
	部活動、生徒会、学級活動等に積極的に参加している	36%	33%	23%	8%
	健康的な生活を送るように努めている	11%	36%	41%	12%
進路	将来の目標を決め、勉強に取り組んでいる	14%	43%	33%	10%
	将来の進路実現のために努力している	15%	51%	27%	7%
全般	学校生活は楽しい	31%	56%	9%	4%

(A : 当てはまる B : ほぼ当てはまる C : あまり当てはまらない D : 当てはまらない)

(4) 保護者からのアンケートの結果

学校の取り組み等についてアンケート項目を設けて実施しました。  
下表はそのうちの幾つかの項目についての比率 (%) を抜粋で示したものです。

アンケート項目	A	B	C	D
学校は生徒の学力向上に努めている	23%	61%	15%	1%
学校は服装や遅刻を含め、生活指導上の問題について適切に指導している	32%	56%	10%	2%
学校は進学・就職の情報提供を含め、きめ細かな進路指導を行っている	29%	60%	10%	1%

(A : 当てはまる B : ほぼ当てはまる C : あまり当てはまらない D : 当てはまらない)

(5) 学校関係者評価

学校評議員4名、PTA役員6名の計10名より構成される学校関係者評価委員会を3月中旬に開催しました。各委員からいただいた主な意見を以下にまとめています。

**【主な意見】**

- ・ここ4～5年、津田高は大変良くなって来ている。服装もまず許せる範囲である。
- ・高校生はよく挨拶をしてくれる。ただ、服装については悪い。靴をちゃんと履いていない。
- ・高校生として読んでおかなければならない本を紹介しておく必要があるのでは。
- ・津田高校のことを、小学生に対して、もっと知っておいてもらう必要があるのではないか。
- ・スピーチコンテストは大変良かった。
- ・家庭学習調査を実施しているとのことだが、家庭学習をまったくしない生徒をどうするか。
- ・朝も帰りも学生がコンビニに行っている姿が気になる。
- ・生徒がイライラするのは栄養が足りないからか？PTA総会で、栄養指導の話をして欲しい。
- ・最近、先生が忙しすぎて、自分の個性を発揮できないのではないかと。生徒を惹きつける先生の存在が欠かせない。
- ・一見つまらないと思える子どもの意見をよく聞き、子どもの目線で物事を考えて欲しい。
- ・1年生の部活動は強制でもいいのでは。
- ・悩みを持っている生徒が約3割ということであるが、悩みはもっとあってもいいと思う。学生時代は悩み事ばかりなのが普通ではないか。

(6) 次年度に向けての課題

学習意欲の喚起、家庭学習時間の増加、学校行事や部活動への積極的な取組、地域連携、進路意識の高揚、進路実現に向けての早期対応等が課題となっています。